

# 高等学校教師を対象とした情報教育講習会

古井 陽之助  
Younosuke FURUI

九州産業大学 情報科学部 情報科学科  
Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
<http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~furui/>

## 1. はじめに

平成 24 年度も例年通り夏季休業期間中に「高等学校教師を対象とした情報教育講習会」が開催されたので報告する。

この講習会の第 1 回が開催されたのは、本学に情報科学部が創設された平成 14 年度である。平成 21 年度までは情報科学部が総合情報基盤センターと共同で開催する形をとっていたが、平成 22 年度からは総合情報基盤センターの主催となっている。また、平成 15 年度の第 2 回から毎回、福岡県教育委員会および福岡市教育委員会の後援を得ている。

講習会の名称は、平成 20 年度まで「高等学校教師を対象とした情報技術 (IT) 講習会」であったが、単に情報技術を教えるだけでなく高等学校における情報教育を支援するという趣旨を明確にするため、平成 21 年度の開催時に現在の名称に改められた。

開催期間は、平成 14 年度の第 1 回のみ 10 月の 3 連休であり、平成 15 年度から平成 21 年度までは夏季休業中の 3 日間であった。平成 22 年度からは講義内容を絞り込むことにより 2 日間に短縮されている。

コースの編成は、平成 16 年度までは主に情報教育に関わる 2~3 コースであった。平成 17 年度に情報教育とシステム管理の 2 コース体制になった。例年、各コースは開催期間中に並列に実施される。

## 2. 開催概要

今回の開催期間は 8 月 20 日および 21 日であった。各コースの概要を表 1 に示す。情報科学部からは 6 名の教員が講師として参加し、講義時間の約 3 分の 2 を担当した。

### 2・1 情報教育コース

情報教育コースでは、平成 23 年度と同様に著作権と個人情報、フリーソフト、画像の活用、Web ページの作成が取り上げられた。また、平成 22 年度に実施して好評であった模擬講義「絵字たるデジタル」が復活した。

さらに、新たにプレゼンテーションの方法を扱う講義が導入された。この講義は、話し方、内容の組み立て方、スライド資料の作り方を取り上げるとともに、優れたプレゼンテーションの例として視聴可能なインターネット上の動画やテレビ番組を紹介した。

### 2・2 情報システム管理コース

情報システム管理コースは、平成 23 年度までは名称を「ネットワーク・サーバ管理コース」としていたが、情報システムの管理についてもっと基本的な話題から実例の紹介までを扱うという観点から、今回の名称に改称された。

内容としては、平成 23 年度と同様にネットワークの基礎、仮想化技術の活用、セキュリティ管理が取り上げられたのに加え、Linux 管理の初歩的な講義も設けられた。また、さらなる新たな試みとして、本学内システムの運用等を取り扱う企業の担当者に、教育機関におけるシステム全体の運用管理方法などを講義していただいた。

### 2・3 開会式、意見交換会、閉会式

初日の講義の前には、平成 23 年度と同様に、2 コースの参加者全員が一堂に会しての開会式および意見交換会が開催された。この意見交換会は、平成 22 年度までは最終日の講義が終わったあとに開催されていたが、講義に先立って受講者と講師が少しでも親睦を深めて話しやすい雰囲気を作っておくほうがよいという理由から、平成 23 年度に現在の形に変更されたものである。

最終日の講義終了後には、これも平成 23 年度と同様に閉会式が行われ、受講者には修了証が手渡された。

## 3. 受講者数

今回の参加者数は、情報教育コースでは 14 名 (12 校) であり、平成 23 年度の 14 名 (14 校) と同数であった。情報システム管理コースでは 17 名 (17 校) であり、平成 23 年度の 11 名 (10 校) から 6 名増であった。

平成 14 年度からのコース別および全体の受講者数の推移を図 1 にグラフとして示す。なお、前述の通り平成 16 年度までは主に情報教育に関わる 2~3 コースを実施していたので、その受講者数は全て情報教育コースのものとして数え、情報システム管理コースについては平成 17 年度からの推移を示している。

いずれのコースでもピークは平成 17 年度であり、それ以降は受講者数は増減を繰り返しているものの、全体としては減少傾向にある。受講者数の確保は、主催する総合情報基盤センターにとっても情報科学部にとっても、近年の懸案事項の一つである。

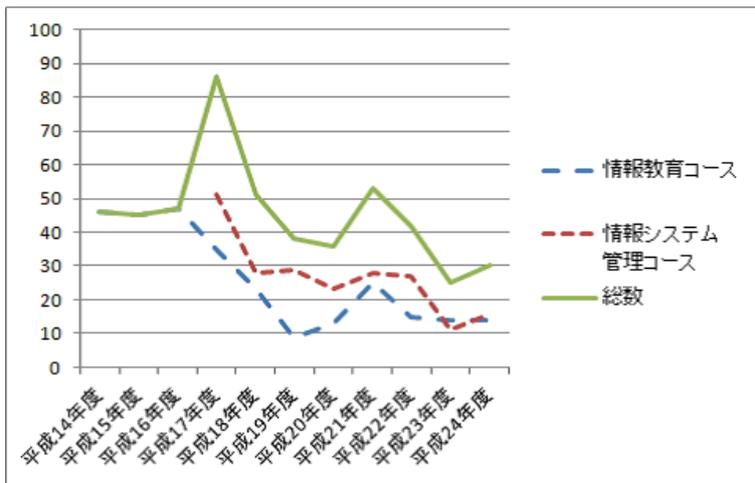


図1 受講者数の推移

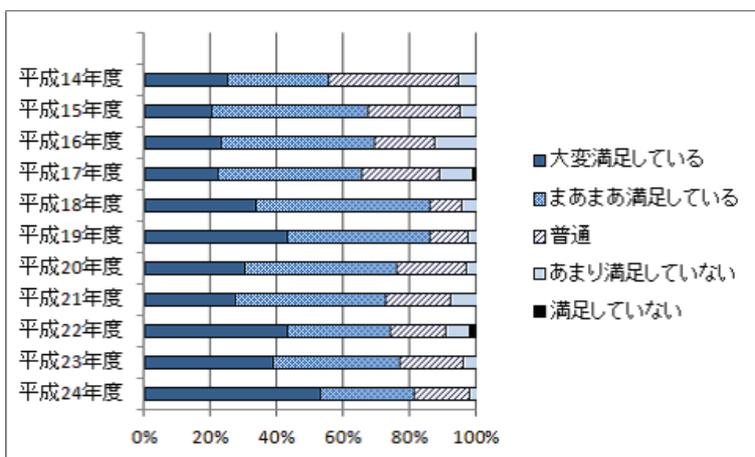


図2 アンケート結果 (満足度)

この減少傾向の理由としては、開催期間が高等学校の授業開始時期と重なること（平成 22 年度に開催期間が 2 日間に短縮されたのはこの点を意識してのことでもある）や、講義内容に大きな変更がないことなどがあると推測される。

#### 4. アンケート調査

総合情報基盤センターでは、講習会受講者を対象に、講習会終了時にアンケート調査を実施している。平成 14 年度からの年度ごとの満足度を図 2 にグラフとして示す。

「大変満足している」および「まあまあ満足している」という回答を合わせた割合は、平成 18 年度および平成 19 年度にピークを迎えたのち、平成 20 年度および平成 21 年度には低下したが、平成 22 年度からは再び上昇に転じ、今回はピーク時に遜色ない水準まで回復した。また、「大変満足している」のみに着目すれば、今回は過去最高の水準を達成している。

開催時期についての質問に対しては、「夏休み期間が良い」という回答がほとんどであった（ただし、これは実際に夏季休業期間に来ている受講者から得た回答である

ことに注意を要する）。

#### 5. おわりに

今回は、受講者数は依然として多くはなかったものの、受講者の満足度は過去最高に近い水準を達成することができた。

今後の課題としては、もっと多くの人々に受講してもらうために、高等学校の教員にとどまらない範囲の人々を対象にすることや、そうした対象者にしっかりと届く告知方法を工夫することなどが挙げられる。満足度を一定の水準に保つために、講義内容の質をさらに向上させ、講義で扱う話題を増やすなど、受講者の期待に応える努力を重ねていくことも必要である。情報システム管理コースを担当する教員の負荷が高いこともかねてより指摘されている。さらに多くの教員の協力が望まれる。

表 1 平成 24 年度 第 11 回高等学校教師を対象とした情報教育講習会 講義内容一覧

情報教育コース		講師	講義内容
8/20	10:00-11:00	開会式・意見交換会	担当講師全員
	11:10-12:10	① トピックス - 著作権と個人情報の保護について -	情報科学部 宮崎 明雄 教授
	13:00-14:00	② プレゼンテーションの方法	情報科学部 稲永 健太郎 准教授
	14:10-15:10	③ フリーソフトの入手と活用(1)	情報科学部 古井 陽之助 准教授
	15:20-16:20	④ フリーソフトの入手と活用(2)	
8/21	10:00-11:00	⑤ 模擬講義:絵字たるデジタル	情報科学部 朝廣 雄一 教授
	11:10-12:10	⑥ 簡単かつ手軽な画像の活用	芸術学部 佐野 彰 准教授
	13:00-14:00	⑦ Webデザイン(1)	芸術学部 井上 貢一 准教授
	14:10-15:10	⑧ Webデザイン(2)	
	15:20-16:20	⑨ Webデザイン(3)	
	16:20-	閉会式	
情報システム管理コース		講師	講義内容
8/20	10:00-11:00	開会式・意見交換会	担当講師全員
	11:10-12:10	① ネットワークの基礎(1)	情報科学部 神屋 郁子 助手
	13:00-14:00	② ネットワークの基礎(2)	
	14:10-15:10	③ 仮想化技術の活用(1)	情報科学部 下川 俊彦 教授
	15:20-16:20	④ 仮想化技術の活用(2)	
8/21	10:00-11:00	⑤ Linux管理の初歩(1)	情報科学部 下川 俊彦 教授
	11:10-12:10	⑥ Linux管理の初歩(2)	
	13:00-14:00	⑦ セキュリティ管理(1)	経営学部 福田 馨 教授
	14:10-15:10	⑧ セキュリティ管理(2)	
	15:20-16:20	⑨ システム運用管理	SCSK(株) (株)コラボレーションシステム
	16:20-	閉会式	